

まなびや訪問

金融教育研究校・
金銭教育研究校
の紹介



1年生の授業



貝塚市立木島小学校



5年生の授業



木島スタジオジャパン(KSJ)



大阪府 貝塚市立木島小学校

貝塚市立木島小学校は、大阪府の南部、貝塚市の山側に位置し、140年以上の歴史を誇ります。周囲に田畑や野山があるのかな自然環境のなかで「自ら学び、つながり、ともに高め合う子ども育成」を目標として教育活動を行っています。

本校は、2016・2017年度に大阪府金融広報委員会から金銭教育研究校の委嘱を受け、「自分の思いをもって、いきいきと活動する子ども」

「ものやお金を大切に」、「友だちのことを考え、思いやりのある行動ができる子ども」をめざし、金銭教育の実践に取り組んでいます。

例えば道徳の授業では、どの学年も物語を読み、登場人物が気づいたことをもとに、欲しいものと必要なものは違うということ、お金やものを大切にすることなどについて考え、意見を出し合いました。

5年生は、大阪造幣局と日本銀行大阪支店を見学し、人び

とが安心してお金を使えるために、お金の製造・管理・流通にはさまざまな工夫が凝らされていることを学びました。また、この見学を踏まえ、総合的な学習の時間では、普段、自分たちがどのようなことにお金を使っているか、自分の使ったお金が次にどのようなところに移動して使われているかを考え、図にまとめる作業を行いました。

さらに、児童委員会では、全学年が参加してゲームやクイズなどを行うお店を出し、お金に見立てたペットボトルのキャップをやりとりしながら、遊びを楽しむ「木島スタジオジャパン(KSJ)」という行事を年2回行っています。この取組みを通し、子どもたちの自主性を育み、お金を計画的に使う力を養うことをめざしています。

今後も金銭教育に取り組み、ものやお金を大切に、人に思いやりをもって関われる豊かな心を育てていきたいと考えています。